

# 政策 21

～安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

清流と豊かな自然環境の保持に向けて、浸水被害を少なくし、川に親しめるような整備をすることで、川辺が市民の憩いの場となることを実現します。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
緑地・河川などの自然環境に満足している人の割合(再掲)	—	25.0%	22.0%	—	21.4%	25%
	21.1%	22.7%	20.6%	22.0%		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

4人に1人が満足することをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
流域整備面積率	—	—	—	—	59.7%	61.1%
	54.6%	57.4%	58.1%	67.8%		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

現況の整備面積より189ha増をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
BOD(75%)値(国分川水系)	—	—	10mg/l	—	10mg/l	10mg/l
	15mg/l	8.6mg/l	9.4mg/l	9.2mg/l (H23)		

### 【めざそう値(32年度)設定の考え方】

真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/l以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
水質基準達成率(国分川水系BOD)	—	—	100%	—	100%	100%
	37%	75%	100%	100% (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが真間川流域水循環系再生行動計画に基づく目標値(10mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
BOD(75%)値(坂川水系)	—	—	5mg/l	—	5mg/l	5mg/l
	5.9mg/l	5.1mg/l	3.9mg/l	5.3mg/l (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
水質基準達成率(坂川水系BOD)	—	—	100%	—	100%	100%
	45%	66%	100%	92% (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

良好な水環境を日常的に確保するため、観測値全てが清流ルネッサンスⅡ(第二期水環境改善緊急行動計画)に基づく目標値(5.0mg/ℓ以下)をめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
河川利用イベントの参加者数	—	—	—	—	22,000人	22,000人
	—	10,395人	4,300人	1,000人 (H23)		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

過去の結果を勘案して最も高い数値を上回ることをめざす。

上段:めざそう値(目標) 下段:実績

	13年度	前期基本計画		現状値	後期基本計画	
		19年度	22年度	24年度	25年度	32年度
下水道利用率(下水道利用者数/市内人口)	—	—	76.30%	—	78%	85%
	62.17%	72.26%	74.83%	76.20%		

【めざそう値(32年度)設定の考え方】

下水道利用率、前年度に対して概ね1ポイントの増をめざす。

# 政策21

安全な川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

1.水害を少なくします

## 1. 現況と課題

本市における河川は、江戸川に沿った低地を中心とする坂川流域、市川市を下流域とする真間川流域、手賀沼を下流域とする手賀沼流域の3つの流域に分かれています。過去の大雨では、坂川と新坂川に挟まれた栄町・西馬橋地区や長津川沿いの中和倉・新作地区、前田川沿いの八ヶ崎地区、国分川沿いの大橋地区、春木川沿いの日暮地区などで浸水被害が発生していましたが、河川や排水路の断面積を広げる改修事業により、年々浸水区域も減少しています。

これまで、基本的に1時間50mm程度の降雨を想定して対応しておりますが、近年、突発的な集中豪雨による浸水被害が発生しており、更なる排水路の整備が望まれています。

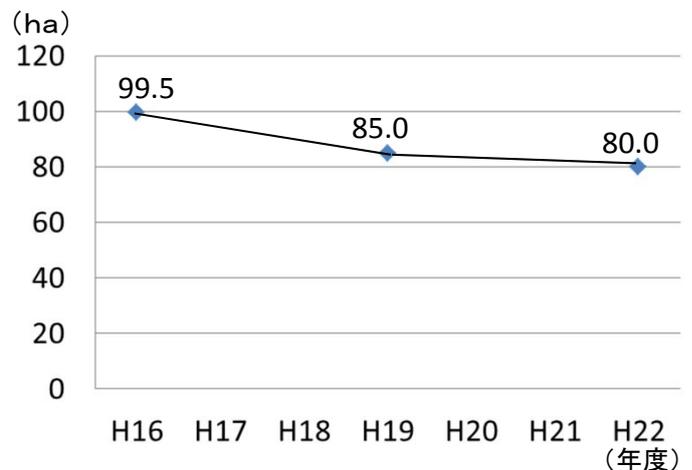
### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 浸水被害の恐れのある地区が、集中豪雨に見舞われても、浸水被害が起きないようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② 集中豪雨のときでも、幹線道路は安全に移動できるようになっていることが望まれています（ニーズの増）
- ③ 浸水被害エリア以外の住民は、浸水被害対策への関心が低くなっています（ニーズの減）

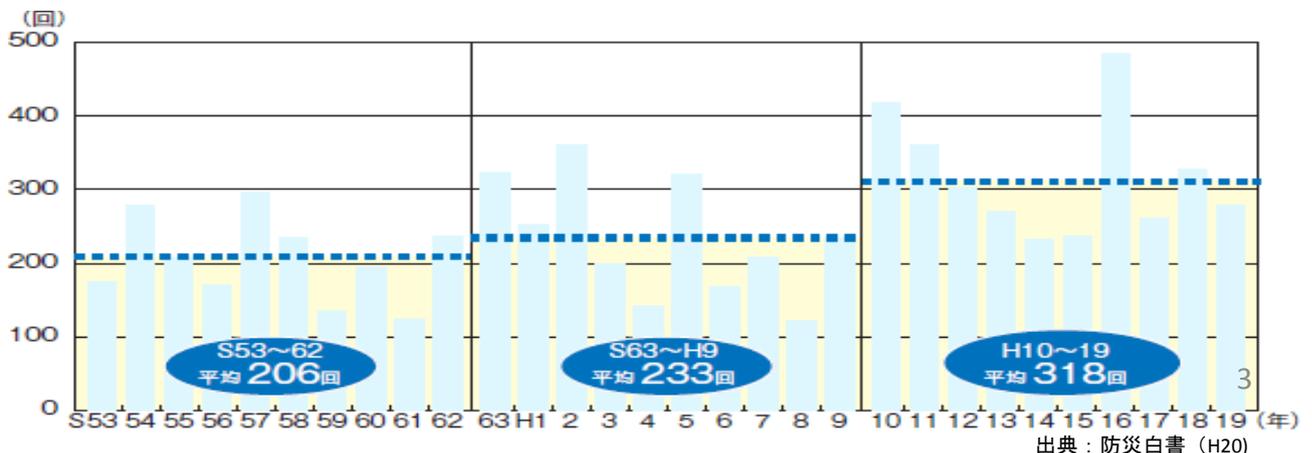
●松戸市の河川流域（全体：61.33Km<sup>2</sup>）



●浸水面積の推移



●1時間降水量50mm以上の降水の発生回数



## 2. 施策の展開方向

浸水被害常襲化地区の水害の軽減を図るため、河川と排水路の計画的な改修を行います。

市街地における雨水対策については、放流先河川の改修事業と調整を図りながら、浸水被害常襲化地区、および計画的な開発が進められている地区を中心に治水対策を推進します。

近年、都市における局所的な集中豪雨がみられ、その浸水対策が必要となってきました。

河川や排水路などの整備を推進し、保水や遊水機能の保全に努め、治水安全度の向上を図ります。

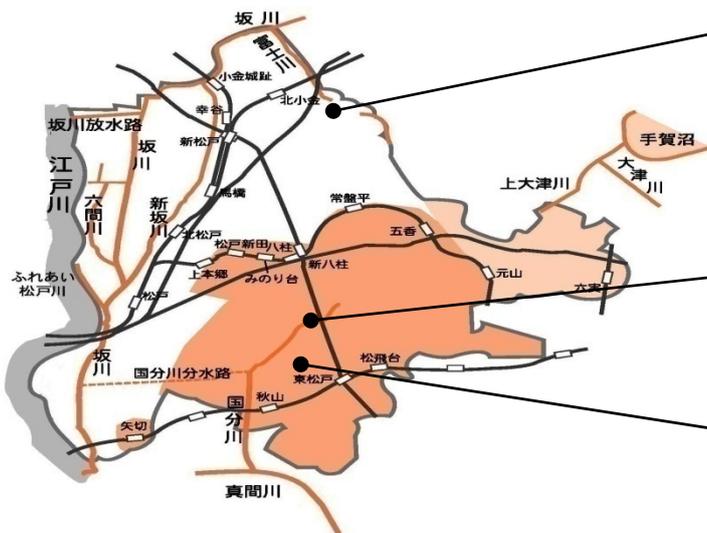
## 3. 施策を推進していく上での課題

河川・排水路改修は、施工時期が11月から翌年5月までの少雨期に限られるため、1会計年度内では進捗が上がらず、また、施工延長が短いことから、工事費が割高になっています。そこで、継続費等を用いて年度をまたいだ工期設定により、効率的に整備することも考えられます。

### 【特筆すべき松戸の強み】

- ① 雨水貯留池や学校のグラウンドを利用した貯留施設などの施設整備と一般住宅への雨水浸透ますの設置指導などにより、降雨の急激な河川への流入を軽減する対策が進んでいます（強み）
- ② 河川や排水路の整備が進み、一定の降雨量に対しては、被害が少なくなっています（強み）

### ●上富士川上流排水整備事業・春木川、紙敷川排水整備事業



出典：松戸市のホームページ



整備された上富士川上流水路



整備された春木川



整備された紙敷川

### ●雨水貯留池一覧

No.	名 称	貯留量 m3	貯留池面積 m2	No.	名 称	貯留量 m3	貯留池面積 m2
1	ユーカリ交通公園	17,600	6,399	22	根木内東	1,781	457
2	高柳新田	31,700	7,540	23	中和倉寒風沖	144	36
3	小金きよしヶ丘	2,000	831	24	高柳中島込	171	127
4	第六中学校	6,700	2,193	25	中和倉寒風	196	70
5	栗山	2,900	490	26	関台	14,000	4,135
6	神田川上流	12,000	2,000	27	松戸赤巻毛	145	67
7	八ヶ崎	300	61	28	牧の原1丁目	1,190	400
8	小金原鉄塔線下	5,000	1,050	29	幸谷ポッケ	162	40
9	牧の原	23,000	12,140	30	高塚新田北谷台	588	260
10	原の山	300	152	31	和名ヶ谷東台	400	123
11	上本郷小学校	5,000	1,040	32	高塚新田北谷台第2	313	117
12	梨香台	13,000	5,000	33	八ヶ崎バレストタウン	130	59
13	五香六実一文字第一	5,000	864	34	高塚新田北谷台第3	485	182
14	金ヶ作西ヶ沢	1,000	2,000	35	金ヶ作陣屋前	145	144
15	常盤平	5,700	882	36	松戸新田陣ヶ前	2,569	626
16	五香六実一文字第二	8,300	3,540	37	河原塚宮ノ内	3,568	900
17	高塚新田	425	81	38	松戸白山	198	67
18	松戸新田第二市営住宅	160	360	39	紙敷(3号)	15,148	7,900
19	河原塚寺ノ台	5,200	928	40	紙敷(1号)	4,236	1,694
20	西馬橋	187	240	41	大橋	180	202
21	古ヶ崎	490	350		計	191,711	65,747

出典：松戸市のホームページ、平成23年4月現在

# 政策21

安全な河川に整備し、きれいな水とふれあえるようにします

2.水環境をよくします

## 1. 現況と課題

江戸川及び坂川流域では急激な都市化が進み、以前は汚濁や臭気の発生など河川の水環境が大きく悪化していました。このため行政（国・県・市）と地域住民が一体となった「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」、「第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）」により、国による「ふれあい松戸川」の整備や下水道事業等との連携などにより水環境の改善を進めてきました。なお、下水道利用率は、平成13年度に62.17%であったものが、23年度には、76.20%となっています。

千葉県に協力して進めている「坂川再生事業」では、小山から赤塚までの区間で、川沿いの歩道や川岸の整備、水辺に近づける工夫、植樹やレンガ橋の保存などを進めています。

河川水質の代表的な指標であるBODの推移をみますと、坂川流域では、平成13年度に5.9mg/lが23年度には5.3mg/lに、国分川流域では、15mg/lが9.2 mg/lになり、環境基準値の10mg/lを下回っています。

### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 生活排水が河川を汚す原因とならないことが望まれています（ニーズの増）
- ② 日常生活において川や水辺が憩いを与えてくれることが望まれています（ニーズの増）

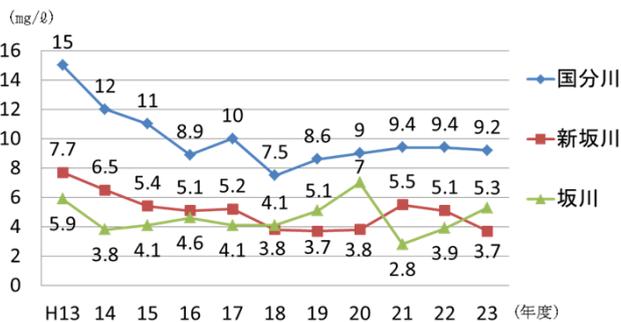
### ●親水マップ



### ●親水マップに掲載されている湧水等

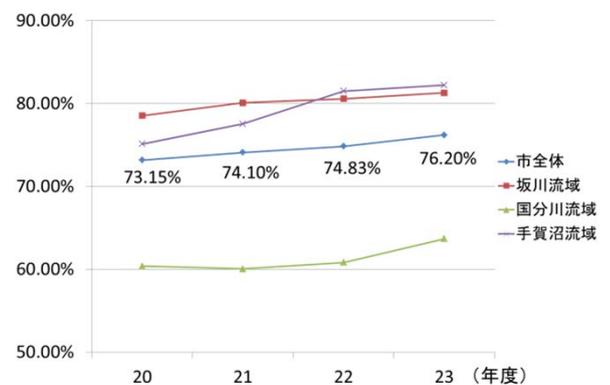
- 1. 幸田湧水
- 2. 富士川親水広場
- 3. 新坂川親水護岸
- 4. 川の一里塚(主水新田)
- 5. 六間川桜並木
- 6. 旭町水辺広場
- 7. 坂川親水プロムナード
- 8. 新坂川緑道
- 9. 大清水湧水
- 10. 川の一里塚(古ヶ崎)
- 11. 千駄堀湧水広場
- 12. 江戸川松戸フラワーライン
- 13. 宮ノ下湧水
- 14. 川の一里塚(樋野口)
- 15. 竹ヶ花雷電湧水
- 16. ふれあい松戸川
- 17. 小山親水水路
- 18. 坂川再生事業区間
- 19. 国分川多自然護岸
- 20. 坂川親水広場
- 21. 川の一里塚(矢切)
- 22. 秋山湧水
- 23. 柳原親水広場

### ●坂川・新坂川・国分川のBOD経年変化（75%値）



出典：環境の現状と対策

### ●河川流域ごとの下水道利用率の推移



出典：下水道整備課資料

## 2. 施策の展開方向

本市は、行政面積に対する河川の延長が県内で最も長い都市です。親水性に配慮した護岸を整備するとともに、環境学習などの市民参加による水辺活用プロジェクトを推進し、こうした豊かな水の資源を都市の魅力づくりに生かしていきます。

また、河川の水質保全や衛生的な生活環境の向上のため、普及率100%をめざして下水道施設の整備、普及を推進します。

さらに、市内河川にかつての清流を取り戻し、生態系の維持機能の向上を図るため、排水における水質の規制や河川愛護の啓発に努め、公共下水道整備とともに河川浄化施設による水質改善対策を推進します。

また、雨水の貯留や浸透による水源の確保や環境用水などの導入を図り、河川や湧水地の水量の確保に努めます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

水環境の保全を図る上で、安定した河川水量の確保に努める。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 市内河川への導水、下水道の整備などにより、河川の水質改善を行っています(強み)
- ② 地下水や湧水地の保全に努め、河川流量を増やし、水環境を再生させるため雨水浸透ますの設置を推進します(強み)
- ③ 坂川河川網の水量は、主に国管理河川からのポンプによる導水により確保されています(弱み)

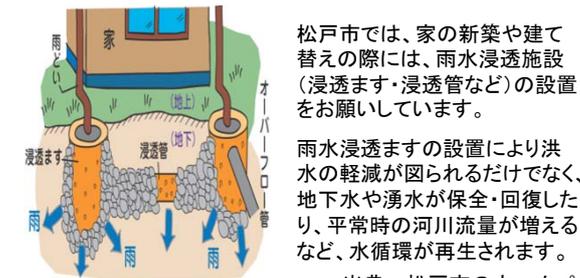
#### ●河川浄化施設と導水場所の位置



#### ●河川愛護団体活動マップ

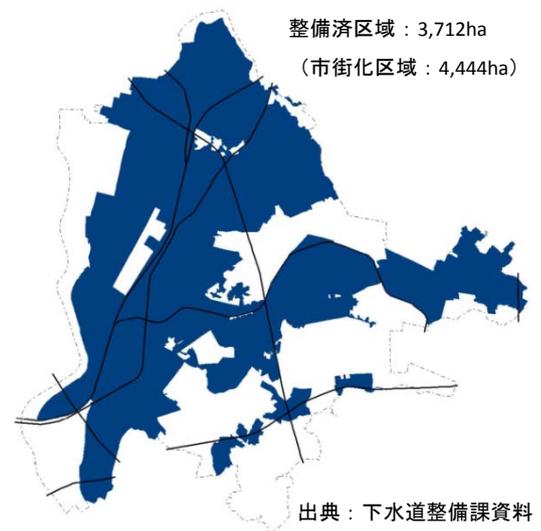


#### ●雨水浸透ますの設置について



#### ●下水道整備済区域(平成23年度)

整備済区域：3,712ha  
(市街化区域：4,444ha)



#### ●下水道普及率の近隣市比較(平成23年度)

